

チョイス & チェンジ

[変額個人年金保険]

特別勘定運用レポート 2020年12月発行 (2020年11月末基準)

～ ご案内 ～

<特別勘定運用レポートについて>

- 当レポートは、特別勘定の運用概況や運用実績をお知らせするためのものです。
- 当レポートは、生命保険契約の募集および主たる投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 各データの基準日から特別勘定運用レポートのご提供まで、各種データの収集、加工等のためにお時間をいただいておりますことをご了承ください。

<クレディ・アグリコル生命からの情報提供>

- クレディ・アグリコル生命 Webサイト
 - ・最新のユニットプライスは当社Webサイトでご確認いただけます。
 - ・積立金額やご契約内容等は、当社インターネット・サービス マイページにてご確認いただけます。
<https://www.ca-life.jp/>
- クレディ・アグリコル生命 カスタマーサービスセンター
 - ・各種変更手続きやご契約内容に関するお問合せ等は下記までご連絡ください。



カスタマー
サービスセンター



0120-60-1221

受付時間：
月～金曜日 9:00～17:00
(祝休日・年末年始の休日を除く)

- ・消費税率の引上げにより、令和元年10月1日以降は信託報酬にかかる消費税率が10%になっております。
- ・当レポート中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・商品の詳細については、「契約締結前交付書面<契約概要／注意喚起情報>」「商品パンフレット」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」等でご確認ください。

特別勘定の種類

特別勘定名		主な投資対象となる 投資信託名	主な投資対象となる 特別勘定の運用方針	投資信託の 運用会社等	信託報酬率(税込)
日本株式	日本株式 (RG)	CAリソな ジャパン・ パリュール・ファンドVA (適格機関投資家専用)	国内株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。	アムンディ・ジャパン 株式会社	年率0.154%程度 (実質:最大年率 0.704%程度) *1
	日本中小型 株式 (RG)	SG 日本小型株VA (適格機関投資家専用)	国内の中小型株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。	アムンディ・ジャパン 株式会社	年率0.825 %程度
海外株式	米国株式 (RG)	フィデリティ・US エクイティ・インカム・ ファンド (適格機関投資家専用)	米国株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	(運用会社) フィデリティ投信 株式会社 (投資顧問会社) FIAM LLC	年率0.792%程度
	海外株式 (RG)	CAリソな グローバル・ ブランド・ファンドVA (適格機関投資家専用) <愛称:ティアラVA>	日本を除く世界各国の株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	(運用会社) アムンディ・ジャパン 株式会社 (投資顧問会社) アムンディ	年率0.517 %程度
新興国株式	中国株式 (RG)	CA グラン・チャイナ・ ファンドVA (適格機関投資家専用)	中国経済圏の株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	アムンディ・ジャパン 株式会社	年率0.154%程度 (実質:最大年率 0.854%程度) *1
	インド株式 (RG)	CAリソなインド ファンドVA (適格機関投資家専用) <愛称: マハラジャVA>	インドの株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	アムンディ・ジャパン 株式会社	年率0.154%程度 (実質:最大年率 0.854%程度) *1
	新興国株式 (RG)	DWS世界新興国株式 ファンドVA (適格機関投資家専用) <愛称: BRICsプラスVA>	新興国各国の株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	(運用会社) ドイチェ・アセット・ マネジメント株式会社 (投資顧問会社) DWSインベストメント GmbH	年率1.045%程度

特別勘定の種類

特別勘定名		主な投資対象となる投資信託名	主な投資対象となる特別勘定の運用方針	投資信託の運用会社等	信託報酬率(税込)
日本債券	日本債券 (RG)	CA日本債券ファンドVAD (適格機関投資家専用)	国内の公社債を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に安定した投資成果をあげることが目標とします。	(運用会社) アムンディ・ジャパン 株式会社 (投資顧問会社) 株式会社りそな銀行	年率0.165%程度
海外債券	海外国債 (RG)	CA外国債券ファンドVAT (適格機関投資家限定)	日本を除く主要国の政府または政府機関の発行する債券を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に安定した投資成果をあげることが目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	アムンディ・ジャパン 株式会社	年率0.407%程度
海外投資適格債券	海外投資適格債券 (RG)	CA米国・ユーロ投資適格債ファンドVA (適格機関投資家専用) <愛称:りそなベア・インカムVA>	米国および欧州の投資適格債券を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることが目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	アムンディ・ジャパン 株式会社	年率0.154%程度 (実質:最大年率0.713%程度)*1
海外ハイイールド債券	海外ハイイールド債券 (RG)	CA米国・ユーロ高利回り債ファンドVA (適格機関投資家専用) <愛称:りそなベア・ハイインカムVA>	米国および欧州のハイイールド債券(高利回り債券)を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることが目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	アムンディ・ジャパン 株式会社	年率0.209%程度 (実質:最大年率0.8915%程度)*1
新興国国債	新興国国債 (RG)	GIM FOFs用新興国ソブリン・オープンF (適格機関投資家専用)	新興国の政府または政府機関の発行する債券を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることが目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	(運用会社) JPMorgan・アセット・マネジメント 株式会社 (投資顧問会社) J.P.モルガン・インベストメント・マネージメント・インク	年率0.671%程度
グローバルリート	グローバルリート (RG)	CAグローバルREITファンドVA (適格機関投資家専用)	日本を含む世界各国の不動産投資信託証券(REIT)を主な投資対象とする投資信託に主に投資することによって中長期的に高い投資成果をあげることが目標とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	(運用会社) アムンディ・ジャパン 株式会社 (投資顧問会社) 株式会社りそな銀行	年率0.528%程度
マネー	マネーブル (RG)	CAマネーブルファンド (適格機関投資家専用)	円建の短期公社債および短期金融商品を主な投資対象とする投資信託に主に投資することによって安定的な運用を行います。	アムンディ・ジャパン 株式会社	各月ごとに決定*2

*1 以下の投資信託はいわゆるファンド・オブ・ファンズであるため、運用にかかる実質的な信託報酬は、当該投資信託と、その投資対象である他の投資信託の信託報酬等の合計となります。投資対象となる投資信託の組入状況によって、実質的な信託報酬は変動します。

・CAりそな ジャパン・バリュアーズ・ファンドVA ・CA米国・ユーロ投資適格債ファンドVA ・CA グラン・チャイナ・ファンドVA
 ・CA米国・ユーロ高利回り債ファンドVA ・CAりそなインド ファンドVA

*2 CAMネーブルファンドの信託報酬は以下のとおりとなります。

- ① 信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に②の率を乗じて得た額とします。
- ② 信託報酬率は、各月ごとに決定するものとし、前月の最終営業日の翌日から当月の最終営業日までの信託報酬率は、各月の前月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に0.33を乗じて得た率(以下「当該率」といいます)とします。ただし、当該率が年0.055%以下の場合には、年0%超 0.055%(税込)以内で運用会社が任意に定める率とし、年0.385%超の場合には、年0.385%(税込)とします。なお、当該指標が改廃等の場合は、委託会社が定める指標を用いることとします。

* 特別勘定についての詳細は「特別勘定のしおり」をご覧ください。

特別勘定のユニットプライスと騰落率の推移

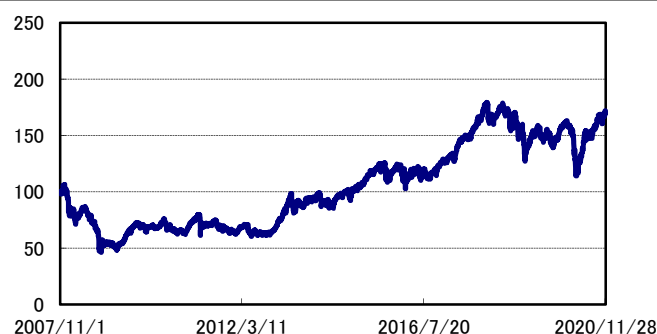
(2020年11月30日現在)

日本株式 (RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	9.51%	投資信託	92.55%
183.51	3ヵ月	10.97%	現預金等	7.45%
	6ヵ月	12.29%		
	1年	19.55%		
	3年	13.46%		
	設定来	83.51%		

日本中小型株式 (RG)



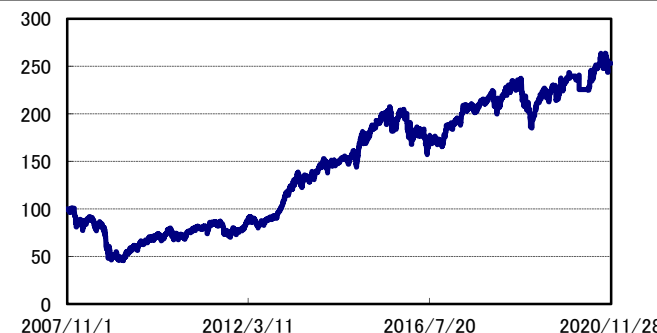
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	5.64%	投資信託	94.50%
169.42	3ヵ月	6.95%	現預金等	5.50%
	6ヵ月	12.74%		
	1年	6.16%		
	3年	2.49%		
	設定来	69.42%		

米国株式 (RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	12.06%	投資信託	94.89%
188.47	3ヵ月	6.22%	現預金等	5.11%
	6ヵ月	12.22%		
	1年	5.70%		
	3年	15.60%		
	設定来	88.47%		

海外株式 (RG)



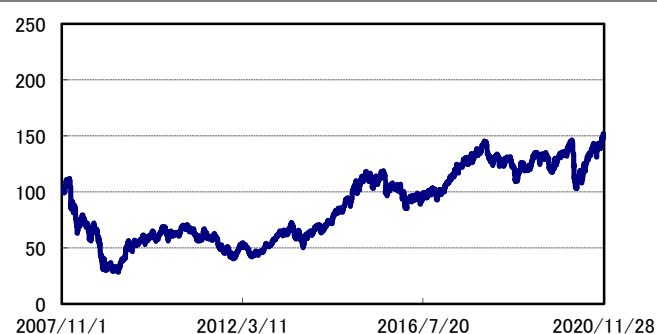
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	2.63%	投資信託	94.55%
253.11	3ヵ月	-1.41%	現預金等	5.45%
	6ヵ月	8.12%		
	1年	4.00%		
	3年	19.27%		
	設定来	153.11%		

中国株式 (RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	4.60%	投資信託	94.87%
163.75	3ヵ月	6.85%	現預金等	5.13%
	6ヵ月	33.21%		
	1年	45.79%		
	3年	6.46%		
	設定来	63.76%		

インド株式 (RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	7.86%	投資信託	94.97%
149.92	3ヵ月	5.01%	現預金等	5.03%
	6ヵ月	30.77%		
	1年	10.86%		
	3年	9.12%		
	設定来	49.92%		

※資産構成比は、投資信託の購入・解約の申込実績を反映しています。
 ※ユニットプライスとは、各特別勘定設定時の資産を100として、その後の運用成果による資産の増減を指数化したものです。
 ※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。騰落率は、小数点第3位を四捨五入しています。

・「チョイス&チェンジ」は特別勘定で運用を行う変額個人年金保険です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 ・この運用レポートは、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

特別勘定のユニットプライスと騰落率の推移

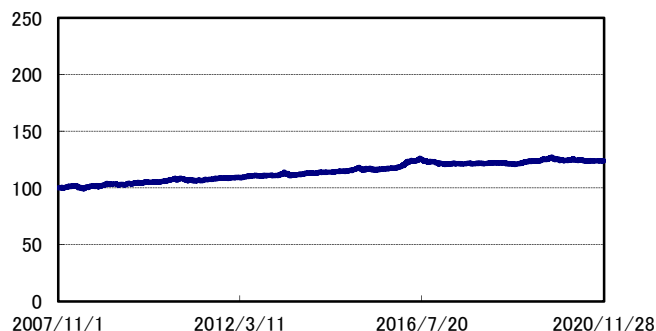
(2020年11月30日現在)

新興国株式(RG)



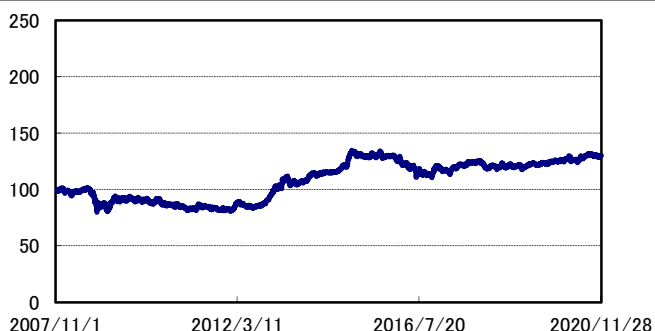
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	0.00%	投資信託	(*注)
111.29	3ヵ月	0.00%	-	-
	6ヵ月	0.00%		
	1年	0.00%		
	3年	-1.86%		
	設定来	11.30%		
			現預金等	-

日本債券(RG)



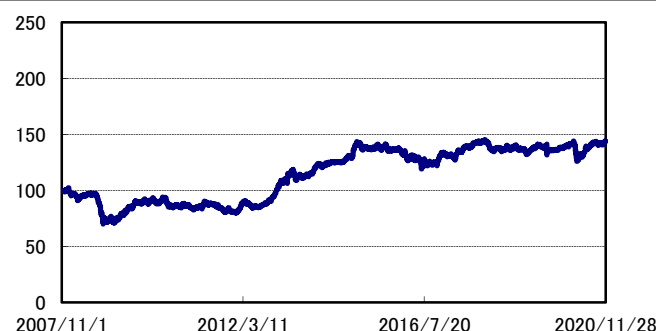
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	0.10%	投資信託	95.02%
123.90	3ヵ月	0.15%	-	-
	6ヵ月	-0.35%		
	1年	-0.71%		
	3年	1.83%		
	設定来	23.90%		
			現預金等	4.98%

海外国債(RG)



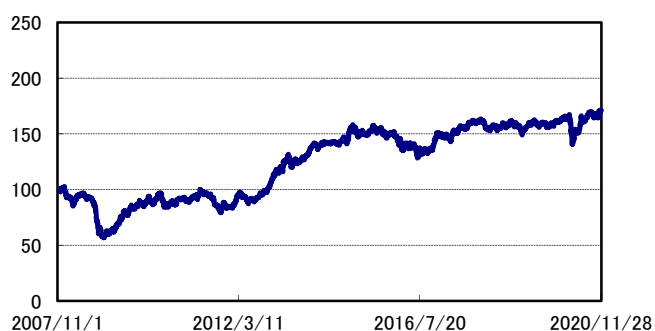
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	0.93%	投資信託	94.92%
130.12	3ヵ月	-0.04%	-	-
	6ヵ月	2.23%		
	1年	3.29%		
	3年	5.18%		
	設定来	30.12%		
			現預金等	5.08%

海外投資適格債券(RG)



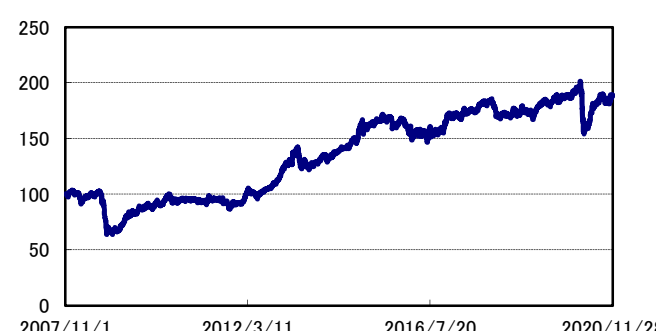
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	2.28%	投資信託	94.88%
143.79	3ヵ月	1.58%	-	-
	6ヵ月	6.87%		
	1年	3.40%		
	3年	0.80%		
	設定来	43.79%		
			現預金等	5.12%

海外ハイイールド債券(RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	3.79%	投資信託	94.76%
170.97	3ヵ月	1.79%	-	-
	6ヵ月	8.14%		
	1年	5.60%		
	3年	6.81%		
	設定来	70.97%		
			現預金等	5.24%

新興国債(RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	4.12%	投資信託	94.85%
188.50	3ヵ月	1.63%	-	-
	6ヵ月	8.89%		
	1年	-0.09%		
	3年	4.33%		
	設定来	88.51%		
			現預金等	5.15%

※資産構成比は、投資信託の購入・解約の申込実績を反映しています。

※ユニットプライスとは、各特別勘定設定時の資産を100として、その後の運用成果による資産の増減を指数化したものです。

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。騰落率は、小数点第3位を四捨五入しています。

(*注) 当資料の基準月末時点において、「新興国株式(RG)」の特別勘定資産は0となっています。ユニットプライスについても、2019年7月5日以降変動していません。

・「チョイス&チェンジ」は特別勘定で運用を行う変額個人年金保険です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 ・この運用レポートは、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

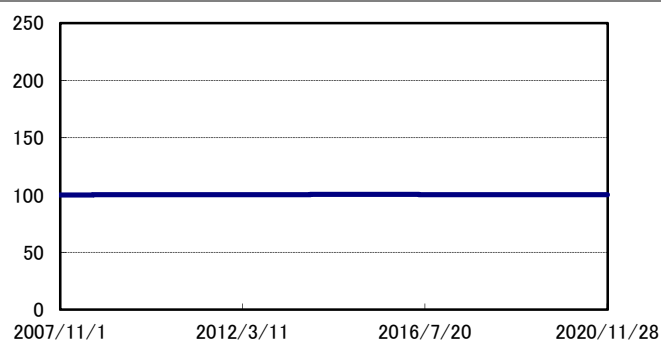
特別勘定のユニットプライスと騰落率の推移

(2020年11月30日現在)

グローバルリート(RG)



マネープール(RG)



ユニットプライス	騰落率	
	140.53	1カ月
3カ月		4.43%
6カ月		8.57%
1年		-9.99%
3年		3.97%
設定来		40.54%

資産構成比	
投資信託	94.92%
現預金等	5.08%

ユニットプライス	騰落率	
	100.23	1カ月
3カ月		0.00%
6カ月		-0.01%
1年		0.01%
3年		-0.06%
設定来		0.23%

資産構成比	
投資信託	49.95%
現預金等	50.05%

※資産構成比は、投資信託の購入・解約の申込実績を反映しています。

※ユニットプライスとは、各特別勘定設定時の資産を100として、その後の運用成果による資産の増減を指数化したものです。

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。騰落率は、小数点第3位を四捨五入しています。

・「チョイス&チェンジ」は特別勘定で運用を行う変額個人年金保険です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 ・この運用レポートは、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

日本株式(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CAりそな ジャパン・バリュー・ファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2020年11月30日 現在

◆ ファンドの特色

・ファンド・オブ・ファンズ方式で運用することを基本とします。
 ・主として、わが国の株式に投資を行うファンドと本邦通貨表示の短期公社債等に投資するファンドに投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目指して運用を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	10.08%	11.74%	12.27%	12.68%	6.31%	83.61%

◆ ファンド概況

基準価額	18,361円
純資産総額	11百万円
設定日	2008年6月2日
決算日	原則 4月20日
信託期間	無期限

◆ ファンド内訳

Amundi Funds ジャパン・エクイティ・バリュー	94.96%
CAマネープールファンド	2.56%
現預金等	2.48%

◆ 主なリスク

価格変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



・上記グラフは当ファンドの設定日からの推移を示したものです。
 ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

11月の国内株式市場は大幅に上昇しました。米国大統領選挙を通過して大きな政治リスクがなくなったことや、日米で新たな大規模景気対策が期待されたこと、新型コロナウイルスのワクチン開発が進んだことなど、景気回復と経済正常化双方を先取りする形で、月初から堅調な展開が続きました。国内の新型コロナウイルスの新規感染者数が最多を更新し、経済活動制限への懸念から反落する局面もありましたが、ワクチン実用化への期待が高まると再び堅調さを取り戻し、海外投資家による買いも活発化し株価を押し上げました。

「CAりそな ジャパン・バリュー・ファンドVA」が投資する「Amundi Funds ジャパン・エクイティ・バリュー」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	比率
1	栗田工業	機械	2.38%
2	カドカワ	情報・通信業	2.30%
3	東亜合成	化学	2.27%
4	味の素	食料品	2.26%
5	東京エレクトロン	電気機器	2.21%
6	アース製薬	化学	2.16%
7	ダイセキ	サービス業	2.13%
8	カシオ計算機	電気機器	2.10%
9	日本電信電話	情報・通信業	2.02%
10	武田薬品工業	医薬品	1.97%
組入全銘柄数: 80 銘柄			上位10銘柄合計 21.81%

◆ 組入上位5業種

業種	比率
電気機器	15.27%
化学	11.44%
情報・通信業	8.04%
機械	7.66%
小売業	6.70%

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

日本中小型株式(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

SG 日本小型株VA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2020年11月30日現在

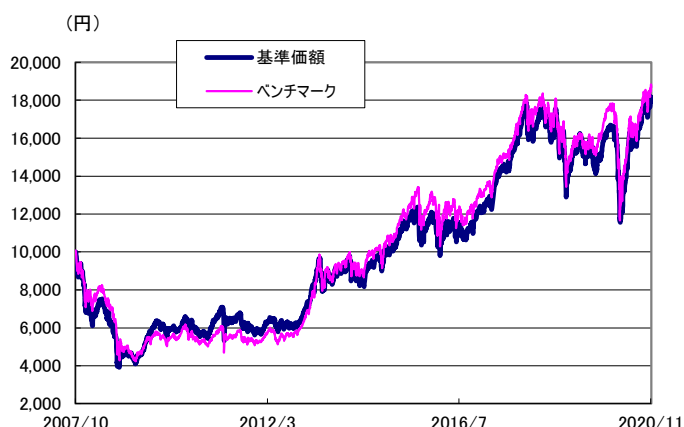
◆ ファンドの特色

東証1部およびその他市場、店頭市場への上場・登録銘柄を主要投資対象とします。
 ○投資方針
 ・小型株市場の中から、徹底したファンダメンタル・リサーチにより成長企業を発掘し、バリュエーション分析で銘柄の割安度を総合判断して投資することで、中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指します。
 ・Russell/Nomura Small Cap Growth インデックスをベンチマークとし、中長期において、ベンチマークを上回ることを目標とします。
 ・ポートフォリオの構築にあたっては、分散投資を基本としリスク分散を図ります。
 ※ただし、資金動向、市況動向等の急変により上記の運用が困難となった場合、暫定的に上記と異なる運用を行う場合があります。

◆ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	4.83%	6.17%	12.69%	9.78%	9.35%	79.23%
ベンチマーク	7.49%	8.43%	12.03%	7.15%	9.56%	86.87%

◆ 基準価額推移グラフ



基準価額は信託報酬控除後です。

ベンチマークは設定日前日を10,000として指数化しています。

◆ 組入上位10銘柄^{※1}

順位	銘柄	業種	比率
1	山一電機	電気機器	2.09%
2	SREホールディングス	不動産業	2.07%
3	ナカニシ	精密機器	2.01%
4	KHネオケム	化学	1.99%
5	GMOインターネット	情報・通信業	1.94%
6	シグマクス	サービス業	1.66%
7	あいホールディングス	卸売業	1.62%
8	オプトラン	機械	1.60%
9	ディップ	サービス業	1.59%
10	技研製作所	機械	1.56%
組入全銘柄数: 81 銘柄			上位10銘柄合計
			18.13%

※1 比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

◆ ファンド概況

基準価額	17,923 円
純資産総額	1 百万円
設定日	2007年10月31日
決算日	原則9月10日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質株式組入比率	90.01%
内現物	90.01%
内先物	0.00%
現預金等	9.99%

◆ 主なリスク

価格変動リスク等

◆ 市況コメント

11月の小型株市場は上昇しました。しかし、出遅れた日本株のポジション引き上げを狙った外国人投資家の資金が大型株に向かった結果、小型株の上昇率は大型株の上昇率を大きく下回りました。

当ファンドの基準価額は、ベンチマークをアンダーパフォームしました。読売新聞社によるTOBで株価が急上昇したよみうりランド(総合レジャー企業)などがプラスに寄与したものの、総じて銘柄選択が十分な効果を上げるには至りませんでした。投資行動としては、地銀との提携効果もあって今後の成長確度が高まったと判断したSBIインシュアランスグループ(ネット保険会社)の組入比率を引き上げました。

◆ 組入上位5業種および市場^{※2}

業種	比率	市場	比率
情報・通信業	13.79%	東京一部	79.11%
サービス業	12.24%	東京二部	14.78%
機械	11.95%	JASDAQ	4.64%
化学	11.73%	その他	1.46%
電気機器	8.77%		

※2 各比率は、マザーファンドの組入株式評価額に対する比率です。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

米国株式(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

フィデリティ・USエクイティ・インカム・ファンド(適格機関投資家専用)

【運用会社】 フィデリティ投信株式会社

【投資顧問会社】 FIAM LLC

2020年11月30日現在

◆ ファンドの特色

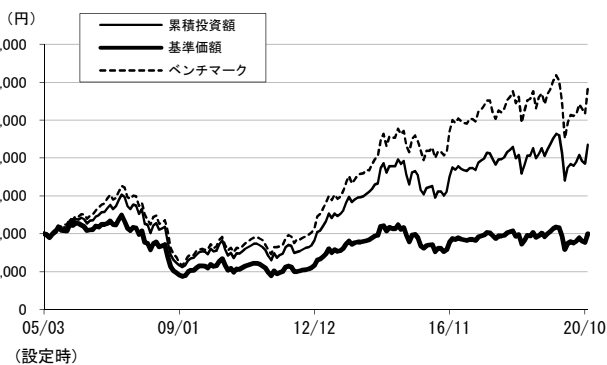
フィデリティ・USエクイティ・インカム・マザーファンドへの投資を通じて、主として、米国の取引所に上場(これに準じるものを含みます。)されている米国企業の株式等を主要な投資対象として、S&P500の配当利回りを上回る配当利回りを目指します。また長期的な投資信託財産の成長も目指します。

ベンチマーク: Russell 1000® Value Index (円換算)
2006年8月末付で、ベンチマークはRussell 3000® Value Index (円換算)から変更となりました。Russell 1000® Value Index およびRussell 3000® Value Indexはラッセルが公表している米国のバリューストックに関する株価指数で、米国の主要株式によって構成されています。当該指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はラッセルに帰属します。

◆ 累積投資額・ベンチマーク騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	12.76%	6.54%	13.15%	-3.86%	9.00%	117.33%
ベンチマーク	12.68%	7.69%	13.46%	-3.54%	8.11%	191.31%

◆ 基準価額、累積投資額 推移グラフ



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、申込手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。
※基準価額は運用管理費用控除後です。

◆ 組入上位10銘柄

(2020年10月30日現在)

	銘柄	業種	比率
1	ダナハー	ヘルスケア機器・サービス	3.28%
2	JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー	銀行	2.79%
3	プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー	家庭用品・パーソナル用品	2.33%
4	アルファベット	メディア・娯楽	2.28%
5	ウォルト・ディズニー	メディア・娯楽	1.96%
6	パークシャー・ハサウェイ	各種金融	1.89%
7	モルガン・スタンレー	各種金融	1.67%
8	シティグループ	銀行	1.66%
9	マクドナルド	消費者サービス	1.55%
10	マーベル・テクノロジー・グループ	半導体・半導体製造装置	1.55%
組入全銘柄数:		105 銘柄	上位10銘柄合計 20.95%

◆ ファンド概況

基準価額	10,010 円
純資産総額	1,322 百万円
設定日	2005年3月2日
決算日	原則、毎年3月10日、6月10日、9月10日、12月10日(休業日のときは翌営業日)
信託期間	原則無期限

◆ 資産構成比

(2020年10月30日現在)

実質株式組入比率	99.33%
うち現物	99.33%
うち先物	-
現金・その他	0.67%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク等

◆ 市況コメント

当月の米国株式相場の主要指数の月間騰落率は、S&P500種指数が+10.75%、ダウ工業株30種平均は+11.84%、ナスダック指数は+11.80%となりました。

当月の米国株式相場は上昇しました。米国株式は大きく上昇しました。新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、感染拡大への懸念は広がったものの、開発中のワクチンに高い有効性が示されたことから、経済正常化への期待が高まりました。経済指標では雇用者数が増加し、製造業の景況感指数も上昇するなど、改善が見られました。注目されていた大統領選はバイデン氏の当選が確実となり、政局不透明感が後退しました。また、バイデン氏が前の米連邦準備制度理事会(FRB)議長であったイレン氏を次期財務長官に指名すると伝わり、緩和的な金融政策が維持されるとの見方が強まりました。こうしたなか、ダウ工業株30種平均が一時3万ドルを突破するなど、米国株式は大きく上昇しました。特に、エネルギーや金融、資本財・サービスなど、これまで出遅れていた業種が大きく上昇しました。

当月の米ドル/円相場は、約0.25%の円高でした(1米ドル=104.54円→104.28円)。(※文中の騰落率は表記の無い限り現地月末、現地通貨ベース、為替はWMロイターを使用。)

◆ 組入上位5業種

(2020年10月30日現在)

業種	比率
資本財	9.72%
ヘルスケア機器・サービス	8.16%
各種金融	8.08%
銀行	7.15%
メディア・娯楽	7.05%

※各比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

※左記銘柄はご参考のため、英文表記の一部をカタカナで表記しております。実際の発行体名と異なる場合があります。

* 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

・本資料は、フィデリティ投信株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外株式(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CARIそな グローバル・ブランド・ファンドVA(適格機関投資家専用)
 <愛称:ティアラVA>

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2020年11月30日 現在

◆ ファンドの特色

・日本を除く世界各国の株式を主要投資対象とする「CAグローバル・ブランド・マザーファンド」受益証券を通じて、主として世界のブランド企業の株式に投資します。ブランド企業とは世界的な知名度、ブランド名を確立している企業で、以下のいずれかもしくは全ての要素を備えている企業をいいます。

- 高品質・信頼性のある商品・サービスを提供する企業
- 高い認知度・知名度を有する企業
- 伝統的・革新的な技術力・ノウハウなどを有する企業

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	2.93%	-1.59%	9.19%	4.32%	15.73%	139.04%

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入上位10銘柄[※]

	銘柄	業種	比率
1	—	—	—
2	—	—	—
3	—	—	—
4	—	—	—
5	—	—	—
6	—	—	—
7	—	—	—
8	—	—	—
9	—	—	—
10	—	—	—
組入全銘柄数:		— 銘柄	上位10銘柄合計

◆ ファンド概況

基準価額	23,904円
純資産総額	1,498千円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	2020年12月22日まで

◆ 資産構成比

実質株式組入比率	0.00%
うち現物	0.00%
うち先物	0.00%
現預金等	100.00%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク等

◆ 市況コメント

11月のグローバル株式市場は大幅に上昇しました。米国大統領選挙を通過し、大きな政治リスクが除かれたことで市場のリスク選好が改善し、月初から堅調な展開が続きました。新型コロナウイルス感染再拡大への懸念もワウチンの開発が進捗し、実用化が視野に入ってきたとの見方から、先進国、新興国問わず投資資金の流入が加速し、株価を押し上げました。

◆ 組入上位5カ国、5通貨および5業種[※]

国名	比率	通貨	比率
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—

業種	比率
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—

2020年12月の償還に向けて現金化を実施しました。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

中国株式(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA グラン・チャイナ・ファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2020年11月30日 現在

◆ ファンドの特色

・ファンド・オブ・ファンズ方式で運用することを基本とします。
・主として、中国経済圏の株式に投資を行うファンドと本邦通貨表示の短期公社債等に投資するファンドに投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目指して運用を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	5.20%	7.67%	36.13%	58.44%	66.86%	211.73%

◆ ファンド概況

基準価額	31,173円
純資産総額	1百万円
設定日	2008年6月2日
決算日	原則 4月20日
信託期間	無期限

◆ ファンド内訳

Amundi Funds チャイナ・エクイティ	94.36%
CAマネープールファンド	2.37%
現預金等	3.26%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等

◆ 基準価額推移グラフ



・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

11月は米国大統領選挙の結果と新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待から世界株式市場が大きく上昇する中、中国株式市場も堅調に推移しましたが、他市場に比べ出遅れました。中国軍関連企業への投資を禁じる大統領令にトランプ政権が署名したことや、米国証券取引委員会の規制強化により中国ADR(米国預託証券)銘柄が米国監査ルールを遵守しない場合には上場廃止となるリスクが浮上したことなども中国株に対する投資家センチメントの重しとなりました。マクロ経済面では、11月の製造業PMI(購買担当者景気指数)は上昇し、約3年ぶりの高水準となりました。中国人民銀行(中央銀行)は、銀行の貸出金利の指標となる最優遇貸出金利(LPR、ローンプライムレート)を7か月連続で据え置きました。

「CA グラン・チャイナ・ファンドVA」が投資する「Amundi Funds チャイナ・エクイティ」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	比率
1	騰訊控股(テンセント・ホールディングス)	コミュニケーション・サービス	8.26%
2	阿里巴巴集团(アリババ・グループ・ホールディング)	一般消費財・サービス	7.23%
3	美团(メイトゥアン)	一般消費財・サービス	5.59%
4	中国平安保険(集団)(ピンアン・インシュアランス)	金融	4.57%
5	京東商城(JDドットコム)	一般消費財・サービス	3.93%
6	中国工商銀行(ICBC)	金融	2.61%
7	友邦保険控股(AIAグループ)	金融	2.11%
8	ピンデュオデュオ	一般消費財・サービス	2.10%
9	平安銀行	金融	2.10%
10	中国人寿保険(チャイナ・ライフ・インシュアランス)	金融	1.87%
組入全銘柄数: 115 銘柄			上位10銘柄合計 40.36%

◆ 国・地域別組入比率

国・地域	比率
中国	92.74%
香港	3.61%
台湾	1.05%
その他	1.09%
現金等	1.51%

◆ 組入上位5業種

業種	比率
一般消費財・サービス	37.36%
金融	18.12%
コミュニケーション・サービス	14.78%
資本財・サービス	7.14%
ヘルスケア	5.03%

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

インド株式(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CARIそなインド ファンドVA(適格機関投資家専用)
 <愛称:マハラジャVA>

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2020年11月30日 現在

◆ ファンドの特色

・ファンド・オブ・ファンズ方式で運用することを基本とします。
 ・主として、インドの株式(ADR(米国預託証券)及びGDR(グローバル預託証券)を含む)に投資を行うファンドと本邦通貨表示の短期公社債等に投資するファンドに投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目指して運用を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	8.29%	5.29%	32.48%	1.78%	4.50%	100.99%

◆ ファンド概況

基準価額	20,099円
純資産総額	69百万円
設定日	2008年6月2日
決算日	原則 4月20日
信託期間	無期限

◆ ファンド内訳

Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ	99.08%
CAマネープールファンド	0.21%
現預金等	0.71%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等

◆ 基準価額推移グラフ



・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
 ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

11月のインド株式市場(S&P/BSE SENSEX インド指数)は上昇し、最高値を更新しました。11月は、グローバル株式市場が新型コロナウイルスのワクチン開発や米国大統領選挙の結果に関するニュースを背景に上昇した流れに乗り、インド株式市場も予想を上回る企業収益が追い風となり上昇しました。規模別では、中型株と小型株は大型株をアウトパフォームしました。セクター別では、金融、不動産、資本財・サービス等が好調でした。一方、エネルギー、情報技術、ヘルスケア等は振るいませんでした。

「マハラジャVA」が投資する「Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	比率
1	インフォシス	情報技術	7.50%
2	HDFC銀行	金融	5.77%
3	ディヴィズ・ラボラトリーズ	ヘルスケア	5.61%
4	タタ・コンサルタンシー・サービス	情報技術	5.26%
5	ブハルティ・エアテル	電気通信サービス	5.26%
6	HCLテクノロジー	情報技術	4.69%
7	バジャジ・ファイナンス	金融	4.40%
8	シュリー・セメント	素材	4.32%
9	コタック・マヒンドラ銀行	金融	3.95%
10	アベニュー・スーパーマーツ	生活必需品	3.32%
組入全銘柄数: 31 銘柄			上位10銘柄合計 50.08%

◆ 組入上位5業種

業種	比率
金融	24.01%
情報技術	17.45%
ヘルスケア	13.19%
一般消費財・サービス	8.74%
エネルギー	7.71%

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

新興国株式(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

DWS世界新興国株式ファンドVA(適格機関投資家専用)

<愛称: BRICsプラスVA>

【運用会社】 ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

【投資顧問会社】 DWSインベストメントGmbH

2020年11月30日現在

◆ ファンドの特色

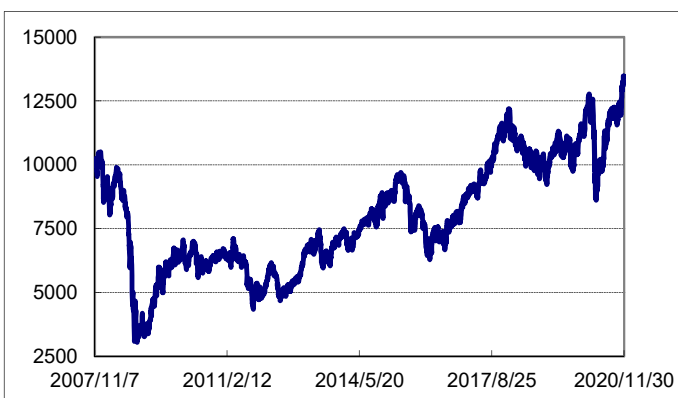
・主として、ブラジル、ロシア、インド、中国(香港を含む)など新興国の企業の株式等を主要投資対象としたDWS世界新興国株式マザーファンドへの投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

・毎決算時(原則として8月18日)。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日)に、信託約款に定める収益分配方針に基づき分配を行います。ただし分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合もあります。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	11.18%	10.22%	31.87%	17.63%	18.72%	34.55%

◆ 基準価額推移グラフ



基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入上位10銘柄*

	銘柄	国名	業種	比率
1	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	9.92%
2	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	台湾	半導体・半導体製造装置	9.50%
3	TENCENT HOLDINGS LTD	ケイマン諸島	メディア・娯楽	8.98%
4	ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	ケイマン諸島	小売	6.82%
5	SBERBANK-SPONSORED ADR	ロシア	銀行	4.69%
6	NASPERS LTD-N SHS	南アフリカ	小売	3.59%
7	LUKOIL PJSC-SPON ADR	ロシア	エネルギー	3.41%
8	HDFC BANK LTD-ADR	インド	銀行	3.35%
9	ICICI BANK LTD	インド	銀行	2.86%
10	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	中国	保険	2.78%
組入全銘柄数: 45 銘柄		上位10銘柄合計		55.90%

◆ ファンド概況

基準価額	13,455円
純資産総額	3百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則として8月18日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

株式組入比率	97.56%
うち現物	97.56%
うち先物	—
現預金等	2.44%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等

◆ 市況コメント

11月の新興国市場で株価は大幅に上昇しました。ブラジルのボブスバ指数は前月比+15.90%となりました。米大統領・議会選の結果や新型コロナウイルスワクチンの開発進展等を受けてリスク選好の動きが広がったことが追い風となったほか、ブラジルの鉱工業生産がコロナ禍前の水準に回復したことが好感されました。

ロシアのRTS指数は前月比+20.19%となりました。米大統領・議会選の結果や新型コロナウイルスワクチン開発の実用化に向けた進展を受けて世界的にリスク選好の動きが広がったことや、需要の改善期待などから原油価格が急反発したことが相場を大きく押し上げました。

インドのS&P・BSE SENSEX指数は前月比+11.45%となりました。米大統領・議会選の結果や新型コロナウイルスワクチンの開発進展等を受けてリスク選好の動きが強まったことに加えて、インドの経済活動正常化への期待や追加経済対策の発表、海外投資家からの大規模な資金流入等を背景に株価が上昇しました。

中国のハンセン中国企業株(H株)指数は前月比+8.06%となりました。米大統領選でバイデン氏が当選確実となったことで米中関係の改善期待が広がったことに加えて、中国の良好な経済指標や新型コロナウイルスワクチンの開発進展等が好感され、株価が上昇しました。

長期的な視点では、新興国市場の見通しは引き続き明るいと考えています。足元ではいくつかの国でロックダウンが強いられるなか、各国が追加の景気支援策を打ち出してくるかどうかに注目しています。また、米国の政権移行前に中国企業に対して追加的な制裁を課す可能性があり、注意が必要だと考えています。このように、短期的には先行きに不透明感が漂いますが、新興国株式には依然として割安感があり、長期投資家にとっては、魅力的な株価水準にあると思われます。

コメントは、DWSインベストメントGmbHの資料をもとに作成しています。

◆ 組入上位5カ国および5業種*

国名	比率	業種	比率
ケイマン諸島	17.88%	銀行	17.77%
韓国	16.25%	エネルギー	12.04%
ブラジル	12.48%	メディア・娯楽	11.33%
インド	12.17%	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	10.49%
ロシア	11.99%	小売	10.41%

※ 各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

日本債券(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA日本債券ファンドVAD(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2020年11月30日 現在

◆ ファンドの特色

・わが国の公社債を主要投資対象とする「CA日本債券マザーファンド」(以下、「マザーファンド」といいます)受益証券への投資を通じて、NOMURA-BPI(総合)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。マザーファンドの運用にあたっては、株式会社りそな銀行に運用の指図に関する権限を委託します。
・ベンチマークはNOMURA-BPI(総合)です。

※NOMURA-BPI(総合)は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる委託会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

◆ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	0.10%	0.16%	-0.38%	-1.26%	1.29%	24.28%
ベンチマーク	0.13%	0.27%	-0.26%	-1.08%	1.80%	27.43%
差	-0.02%	-0.11%	-0.12%	-0.19%	-0.52%	-3.15%

◆ ファンド概況

基準価額	12,428円
純資産総額	57百万円
設定日	2007年10月3日
決算日	原則 10月2日
信託期間	無期限

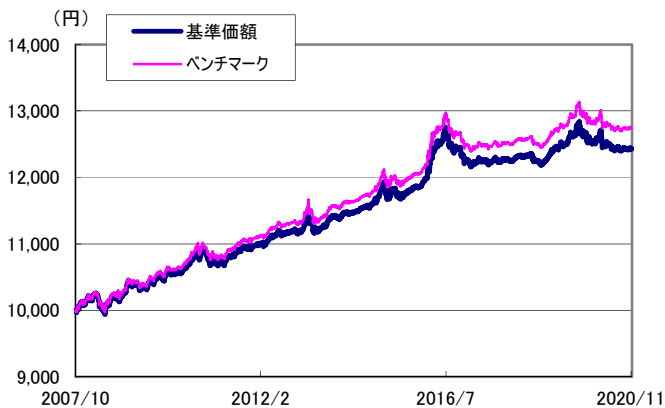
◆ 資産構成比

実質債券組入比率	90.04%
うち現物	90.04%
うち先物	0.00%
現預金等	9.96%

◆ 主なリスク

金利変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・ベンチマークは当ファンド設定日を10,000として指数化しております。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

11月の国内債券市場は、国内長期金利が小幅ながら低下(債券価格は上昇)しました。上旬は、米国大統領選挙の決着まで時間を要するとの見方から米長期金利が低下し、国内債券も連れ高となりました。その後、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待からリスクオンムードとなり、金利低下を巻き戻す展開となりました。月末にかけては、東京都が新型コロナウイルスに対しての警戒レベルを最高水準に引き上げたことを契機に、経済再失速懸念が台頭したことや順調な国債入札結果となったことを背景に、長期金利は再び低下に転じ月末を迎えました。

◆ 組入上位10銘柄[※]

	銘柄	償還日	クーポン	比率
1	利付国庫債券(10年)第349回	2027/12/20	0.10%	1.36%
2	利付国庫債券(5年)第138回	2023/12/20	0.10%	1.28%
3	利付国庫債券(10年)第339回	2025/6/20	0.40%	1.24%
4	利付国庫債券(10年)第328回	2023/3/20	0.60%	1.23%
5	利付国庫債券(10年)第320回	2021/12/20	1.00%	1.23%
6	利付国庫債券(10年)第351回	2028/6/20	0.10%	1.03%
7	利付国庫債券(10年)第335回	2024/9/20	0.50%	0.98%
8	利付国庫債券(10年)第333回	2024/3/20	0.60%	0.91%
9	利付国庫債券(10年)第340回	2025/9/20	0.40%	0.91%
10	利付国庫債券(10年)第355回	2029/6/20	0.10%	0.90%
組入全銘柄数: 254 銘柄		上位10銘柄合計		11.08%

◆ 種別組入比率[※]およびポートフォリオの状況

種別	ファンド	ベンチマーク		ファンド	ベンチマーク
国債	83.16%	83.56%	平均複利利回り	0.10%	0.10%
地方債	6.39%	6.25%	平均クーポン	0.97%	0.85%
金融債	0.64%	0.39%	平均残存期間	9.84年	9.78年
政保債	2.17%	2.18%	修正デュレーション	9.30年	9.27年
事業債	5.64%	5.74%			
円建外債	0.65%	0.44%			
MBS	1.35%	1.37%			
ABS	0.00%	0.07%			

※各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外国債(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA外国債券ファンドVAT(適格機関投資家限定)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2020年11月30日 現在

◆ ファンドの特色

・日本を除く世界の主要国の公社債(国債等)を主要投資対象とした「CA外国債券マザーファンド(適格機関投資家専用)」受益証券に投資することにより、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。
 ・原則として為替ヘッジを行いません。
 ・ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)です。

※ FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

◆ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	0.98%	-0.06%	2.37%	4.29%	5.94%	54.03%
ベンチマーク	1.06%	0.11%	2.53%	4.74%	7.46%	64.59%
差	-0.07%	-0.17%	-0.15%	-0.44%	-1.52%	-10.56%

◆ ファンド概況

基準価額	15,403円
純資産総額	64百万円
設定日	2006年4月28日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質債券組入比率	96.46%
うち現物	96.46%
うち先物	0.00%
現預金等	3.54%

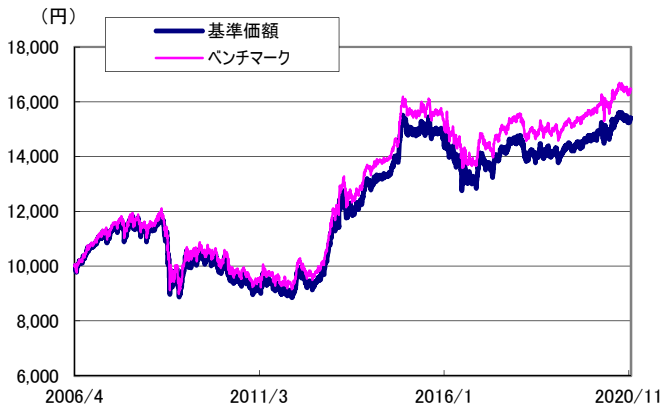
◆ ベンチマーク

FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

◆ 主なリスク

金利変動リスク、為替変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・ベンチマークは当ファンド設定日を10,000として指数化しております。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

11月の外国債券市場では、米国の長期金利は低下(債券価格は上昇)した一方で、欧州の長期金利はやや上昇(債券価格は下落)しました。上旬は、米国大統領選挙で民主党のバイデン氏が勝利を確実にし、米国大統領選挙をめぐる不透明感が後退したことや、新型コロナウイルスのワクチン開発に進展があったことで欧米の長期金利は大きく上昇しました。しかしその後、軟調な米国経済指標や欧州で新型コロナウイルスの感染拡大が再び深刻化したことから欧米の長期金利は低下に転じました。

◆ 組入上位10銘柄(マザーファンド・ベース)

	銘柄	利率	償還日	通貨	比率	
1	米国国債	6.250%	2023/8/15	米ドル	3.41%	
2	米国国債	2.000%	2021/11/15	米ドル	2.78%	
3	米国国債	2.875%	2025/5/31	米ドル	2.66%	
4	フランス国債	5.500%	2029/4/25	ユーロ	2.24%	
5	フランス国債	0.000%	2024/3/25	ユーロ	2.03%	
6	米国国債	3.375%	2044/5/15	米ドル	2.02%	
7	米国国債	2.250%	2024/1/31	米ドル	1.95%	
8	米国国債	2.875%	2028/8/15	米ドル	1.93%	
9	米国国債	1.375%	2023/9/30	米ドル	1.91%	
10	米国国債	2.875%	2028/5/15	米ドル	1.84%	
組入全銘柄数: 261 銘柄					上位10銘柄合計	22.78%

※比率はマザーファンド純資産総額比です。

◆ ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

平均複利回り	0.11%
平均クーポン	2.66%
平均残存期間	9.16年
修正デュレーション	8.36年

◆ 組入上位5か国および5通貨(マザーファンド・ベース)

	国名	比率
1	アメリカ	41.11%
2	フランス	10.01%
3	イタリア	9.73%
4	ドイツ	7.88%
5	イギリス	6.32%

	通貨	比率
1	米ドル	41.11%
2	ユーロ	40.92%
3	英ポンド	6.32%
4	豪ドル	2.61%
5	カナダドル	1.96%

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外投資適格債券(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA米国・ユーロ投資適格債ファンドVA(適格機関投資家専用)
 <愛称:りそな ペア・インカムVA>

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2020年11月30日 現在

◆ ファンドの特色

・ファンド・オブ・ファンズ的方式で運用することを基本とします。
 ・主として、米国債券市場(社債等)へ投資するファンドとユーロ債券市場(国債等公共債・国際機関債・社債等)へ投資するファンドに投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の着実な成長を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	2.45%	1.65%	7.51%	4.37%	5.25%	79.27%

◆ ファンド概況

基準価額	17,927円
純資産総額	2百万円
設定日	2004年11月29日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

◆ ファンド内訳

ドイチェ・米国投資適格社債ファンドVA(適格機関投資家専用)	49.02%
Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド	4.61%
Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンド	44.13%
現預金等	2.24%

◆ 主なリスク

金利変動リスク、信用リスク、為替変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
 ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

11月の米国国債市場では、金利は長期・超長期年限を中心に幅広い年限で低下(価格は上昇)しました。月初は、米国大統領選挙・議会選挙を受けて先行き不透明感が和らいだことや、新型コロナウイルスのワクチン開発で有望な治験結果が得られたことが好感され、長期金利は上昇(価格は下落)しました。しかしながら、その後は新型コロナウイルスの感染再拡大が警戒されたことや主要指標の一部が市場予想を下回ったことを受けて、長期金利は低下しました。社債市場においては、米国議会選挙結果を受けて、ねじれ議会により大幅な政策方針の転換は実施しにくいとの見方が広がったことや、ワクチン開発進展期待から、市場心理が改善しました。
 11月の社債市場では、新型コロナウイルスのワクチンに関するニュースや、米国の大統領選挙でのバイデン氏の勝利などが明るい材料とみなされ、リスク資産価格が大幅に上昇しました。センチメントの改善を背景に欧州の国債利回りは上昇(債券価格は下落)しました。欧州投資適格社債市場のクレジット・スプレッド(国債との利回り格差)は大幅に縮小しました。社債市場は新発債の発行額が前月比で低調だったことに加え、ECB(欧州中央銀行)によるCSPP(社債購入プログラム)が下支えとなり、堅調に推移しました。

◆ ポートフォリオの状況

平均格付 [※]	BBB-
平均最終利回り	1.79%
平均直接利回り	3.67%
修正デュレーション	6.47年

※平均格付は、基準日時点でファンドが実質的に保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外投資適格債券(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA米国・ユーロ投資適格債ファンドVA(適格機関投資家専用)
 <愛称:りそな ペア・インカムVA>

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2020年11月30日 現在

「りそな ペア・インカムVA」が投資する「ドイチェ・米国投資適格社債ファンドVA(適格機関投資家専用)」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位5銘柄^{※1}

	銘柄名	クーポン	償還日	国名	比率
1	NATIONWIDE MUTUAL INSURA 9.375% 08/15/39	9.375%	2039/8/15	アメリカ	5.98%
2	BERKSHIRE HATHAWAY ENERG 8.48% 09/15/28	8.480%	2028/9/15	アメリカ	5.45%
3	コムキャスト・ケーブル・コミュニケーションズHD 9.455% 11/15/22	9.455%	2022/11/15	アメリカ	5.36%
4	フォード・モーター 7.45% 07/16/31	7.450%	2031/7/16	アメリカ	5.35%
5	UNIV OF CALIFORNIA 5.946% 05/15/45	5.946%	2045/5/15	アメリカ	4.96%

◆ ポートフォリオの状況^{※1}

平均格付 ^{※2}	BBB+
平均最終利回り	2.52%
平均直接利回り	5.78%
修正デュレーション	7.72年
組入全銘柄数	28

◆ 組入上位5業種^{※1}

業種	比率
各種金融	11.55%
メディア・娯楽	10.49%
自動車・自動車部品	10.43%
保険	8.80%
公益事業	8.73%

※1 各比率、データ等はマザーファンドのデータに基づきます。
 ※2 平均格付は、基準日時点でファンドが実質的に保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

「りそな ペア・インカムVA」が投資する「Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位5銘柄

	銘柄名	クーポン	償還日(含むコール日)	国名	比率
1	DBR 0% 08/30	0.000%	2030/8/15	ドイツ	4.90%
2	A-F EURO ALPHA BD-M2 EUR ^{※1}	-	-	その他 ^{※1}	3.63%
3	OAT 0.5% 05/40	0.500%	2040/5/25	フランス	2.12%
4	BTPS 3.85% 09/49	3.850%	2049/9/1	イタリア	2.03%
5	BELGIUM 4.25% 03/41	4.250%	2041/3/28	ベルギー	2.01%

◆ ポートフォリオの状況

平均格付 ^{※2}	BBB-
平均最終利回り	0.74%
平均直接利回り	1.43%
修正デュレーション	7.67年
組入全銘柄数	267

◆ 組入上位5業種

業種	比率
国債	40.34%
金融	19.85%
産業	18.89%
その他 ^{※1}	10.16%
公益	4.12%

※1 投資信託証券です。
 ※2 平均格付は、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

「りそな ペア・インカムVA」が投資する「Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンド」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位5銘柄

	銘柄名	クーポン	償還日(含むコール日)	国名	比率
1	AMUNDI TRESO CT -C ^{※1}	-	-	その他 ^{※1}	2.86%
2	TOTAL VAR PERP EMTN	1.750%	2024/4/4	フランス	1.60%
3	AMUNDI 3 M -I ^{※1}	-	-	その他 ^{※1}	1.49%
4	BPLN 2.519% 04/28 EMTN	2.519%	2028/4/7	イギリス	1.47%
5	SLB 2% 05/32	2.000%	2032/5/6	アメリカ	1.10%

◆ ポートフォリオの状況

平均格付 ^{※2}	BBB-
平均最終利回り	1.19%
平均直接利回り	1.75%
修正デュレーション	5.29年
組入全銘柄数	231

◆ 組入上位4業種

業種	比率
産業	45.33%
金融	31.62%
公益	9.77%
その他 ^{※1}	9.25%

※1 投資信託証券です。
 ※2 平均格付は、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外ハイイールド債券 (RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA米国・ユーロ高利回り債ファンドVA(適格機関投資家専用)
 <愛称:りそな ペア・ハイインカムVA>

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2020年11月30日 現在

◆ ファンドの特色

・ファンド・オブ・ファンズ的方式で運用することを基本とします。
 ・主として、米国のハイイールド債市場へ投資するファンドと欧州のハイイールド債市場へ投資するファンドに投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	4.03%	1.92%	8.63%	5.63%	7.04%	67.03%

◆ ファンド概況

基準価額	16,703円
純資産総額	12 百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

◆ ファンド内訳

TCWファンズ-MetWestハイ・イールド・ボンド・ファンド	48.85%
Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド	49.30%
現預金等	1.84%

◆ 主なリスク

金利変動リスク、信用リスク、為替変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

11月の米国株式市場は、新型コロナウイルス・ワクチンに関する明るいニュースや、米国大統領選挙において次の政権の見通しが明らかになる中、急上昇しました。このような環境下、米国ハイイールド債市場も経済回復に対する期待感から投資適格未満の債券への需要が高まり上昇しました。セクターでは、油田サービス、航空、独立系エネルギーなどが好調でした。
 11月は、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展や、米国の大統領選挙でバイデン政権成立がほぼ確実となったことに後押しされ、力強く回復しました。欧州ハイイールド債市場は、スプレッド(国債との利回り格差)が大幅に縮小しプラスのリターンとなり、リスクの高い資産ほどリターンの水準が大きなものとなりました。一方、国債利回りは小幅に上昇(債券価格は下落)しました。ECB(欧州中央銀行)のCSPP(社債購入プログラム)による市場での購入の程度が明らかになる中で、社債は全般的に良好なテクニカル要因に支援されました。また市場参加者が、ここに来て新たなロックダウン(都市封鎖)措置やこれに伴う政府支出の観点から、ECBが12月に支援を拡大すると予想したことも市場を後押ししました。当月の発行市場は活発となり、多くの新発債が起債されました。欧州ハイイールド債市場は10月の資金純流出の後、11月には資金純流入に転じました。

◆ ポートフォリオの状況

平均格付 [※]	B+
平均最終利回り	3.15%
平均直接利回り	3.88%
修正デュレーション	3.54年

※平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外ハイイールド債券(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA米国・ユーロ高利回り債ファンドVA(適格機関投資家専用)
 <愛称:りそな ペア・ハイインカムVA>

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2020年11月30日 現在

「りそな ペア・ハイインカムVA」が投資する「TCWファンズ-MetWestハイ・イールド・ボンド・ファンド」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位5銘柄

	銘柄	投資国	クーポン	償還日	比率
1	BAUSCH HEALTH COS INC CALLED	アメリカ	7.0000%	2024/3/15	2.85%
2	CCO HLDGS LLC/CAP CORP	アメリカ	5.5000%	2026/5/1	2.11%
3	SPRINT CORP	アメリカ	7.8750%	2023/9/15	1.70%
4	T-MOBILE USA INC	アメリカ	3.8750%	2030/4/15	1.68%
5	KRAFT HEINZ FOODS CO	アメリカ	4.6250%	2029/1/30	1.48%

◆ ポートフォリオの状況

平均格付 [※]	BB
平均最終利回り	3.28%
平均直接利回り	4.33%
修正デュレーション	3.80年
組入全銘柄数	222

◆ 格付別比率

格付	比率	格付	比率
AAA	9.79%	BB	25.39%
AA+	0.12%	BB-	14.44%
AA	0.27%	B+	9.57%
AA-	0.29%	B	4.23%
A+	0.18%	B-	2.57%
A	0.28%	CCC+	2.02%
A-	0.27%	CCC	0.97%
BBB+	2.53%	CCC-	-
BBB	1.81%	CC+以下 および無格付	1.23%
BBB-	11.85%	総計	100.00%
BB+	12.19%		

*現金等については「AAA」としています。

※ 平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

「りそな ペア・ハイインカムVA」が投資する「Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位5銘柄

	銘柄名	クーポン	償還日(含むコール日)	国名	比率
1	AMUNDI TRESO CT -C [※]	-	-	その他 [※]	3.60%
2	AMUNDI 3 M -I [※]	-	-	その他 [※]	2.98%
3	TELEFO VAR PERP	4.375%	2024/12/14	スペイン	0.83%
4	AMUNDI RESP INVEST - EUR HG YLD SRI -I [※]	-	-	その他 [※]	0.79%
5	GFKLDE 7.75% 11/25 REGS	7.750%	2025/11/1	ルクセンブルク	0.70%

※投資信託証券です。

◆ ポートフォリオの状況

平均格付 [※]	B+
平均最終利回り	3.14%
平均直接利回り	3.57%
修正デュレーション	3.42年
組入全銘柄数	326

◆ 格付別比率

格付	比率	格付	比率
AA+	-	BB-	16.87%
AA	-	B+	9.22%
AA-	-	B	12.87%
A+	-	B-	4.70%
A	-	CCC+	3.42%
A-	6.59%	CCC	-
BBB+	0.25%	CCC-	-
BBB	1.19%	CC+以下 および無格付	0.38%
BBB-	4.39%	CASH	5.57%
BB+	19.06%	総計	100.00%
BB	15.51%		

※ 平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

新興国国債(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

GIM FOFs用新興国ソブリン・オープンF(適格機関投資家専用)

【運用会社】 JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

【投資顧問会社】 J. P. モルガン・インベストメント・マネージメント・インク

2020年11月30日現在

◆ ファンドの特色

1.GIM新興国ソブリン・オープン・マザーファンド(適格機関投資家専用)(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
2.マザーファンドを通じて、主として世界の新興国の政府または政府機関の発行する債券に投資を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	4.38%	1.74%	9.33%	-0.13%	4.44%	131.83%

*騰落率は、基準価額(信託報酬控除後)に税引前分配金を再投資して計算しております。

◆ 基準価額推移グラフ



上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

基準価額は税引前分配金再投資、信託報酬控除後です。

◆ 組入上位10銘柄^{※1} (2020年10月30日現在)

	銘柄	国	通貨	比率
1	UKRAINE 7.75% SEP23 REGS	ウクライナ	米ドル	1.47%
2	DOMREP 6.6% JAN24 REGS	ドミニカ共和国	米ドル	1.20%
3	QATAR USD4.817%MAR49REGS	カタール	米ドル	1.15%
4	MEXICO USD 5% APR51	メキシコ	米ドル	1.08%
5	PEMEX 7.69%	メキシコ	米ドル	1.04%
6	BAHRAIN 6.75% REGS	バーレーン	米ドル	1.02%
7	KENYA 8% MAY32 REGS	ケニア	米ドル	0.99%
8	PEMEX 5.35%	メキシコ	米ドル	0.98%
9	EGYPTUSD7.0529%JAN32REGS	エジプト	米ドル	0.96%
10	COLOMBIA USD 5% JUN45	コロンビア	米ドル	0.88%
組入全銘柄数:		196 銘柄	上位10銘柄合計	10.78%

※1 比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

組入上位10銘柄については、開示基準日以外の情報と異なります。

クレジット・リンク債の国は、連動先債券の情報に基づき分類しています。

◆ ファンド概況

基準価額	7,242円
純資産総額	1,540百万円
設定日	2006年5月31日
決算日	原則毎月7日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質債券組入比率	96.84%
うち現物	96.84%
うち先物	0.00%
現預金・その他	3.16%

◆ 主なリスク

金利変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等

◆ 市況コメント

当月の米ドル建て新興国債券の利回りは、前月末比で低下(債券価格は上昇)しました。また、新興国スプレッド(米国債との利回り格差)は前月末比で縮小しました。国別のパフォーマンスでは、アンゴラやスランカなど多くの国が上昇した一方、スリナムやレバノンなどが下落しました。

当月は、新型コロナウイルスワクチン開発の効果への期待に加え、米大統領選と上下両院選において全て民主党が勝利する「ブルーウェーブ」の可能性の後退から投資家のリスク選好姿勢が強まりました。

当月の当ファンドの基準価額(税引前分配金再投資ベース)は前月末比で上昇しました。米ドルが対円で下落したことなどはマイナスに寄与したものの、利金収入や保有債券の価格上昇などがプラスに寄与しました。

国別では、メキシコやエジプトなどの保有比率が上昇した一方、サウジアラビアやバーレーンなどの保有比率は低下しました。

弊社のベースケースシナリオは、世界経済は2021年にかけて緩やかに況から抜け出す「緩やかな経済の正常化」を維持しています。新型コロナウイルスのワクチンの普及のタイミング次第ではあるものの、新興国の成長速度は徐々に向上していると見ています。世界的な景気回復と各国中央銀行による金融緩和の継続は、新興国市場にとって良好な市場環境であると考えます。一方で、各国の国内政策の方向性は同調しなくなってきたため、投資においては新興国の差別化がより重要になります。また、2021年は継続的な景気回復と流動性ストレスの低下により、デフォルトと格下げは減少すると見えています。一方、新型コロナウイルスの感染第2波によって景気回復に想定以上の時間を要する可能性が残る点、インフレや米中間の対立など地政学的なリスクなどには留意が必要と見えています。こうした中、米ドル建て新興国債券は米国債との利回り格差が縮小してきているものの、ワクチンの開発・普及にともなう回復や高利回りを好む資金の動きなどに支えられ、依然として投資味があると考えます。

当ファンドの運用においては、引き続き市場の変動性に十分留意しながら、流動性が高く、財政を含む長期ファンダメンタルズが健全な国の中で、割合と判断する債券への投資を継続する方針です。

*運用状況及び運用方針については、実質的な運用を行うマザーファンドに係る説明を含みます。

◆ 組入上位5カ国および5通貨^{※2}

国名	比率	通貨	比率
メキシコ	8.92%	米ドル	98.08%
インドネシア	4.65%	ユーロ	1.92%
アラブ首長国連邦	3.69%		
ウクライナ	3.56%		
エジプト	3.48%		

※2 各比率はマザーファンドベースで組入有価証券を100%として計算しています。

なお、クレジット・リンク債の国は、連動先債券の情報に基づき分類しています。

◆ ポートフォリオの状況

平均格付	BB
平均デュレーション	8.59年
平均終利	5.12%

平均格付とは、債券資産等に係る信用格付を加重平均したものであり、当ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

グローバルリート(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CAグローバルREITファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2020年11月30日 現在

◆ ファンドの特色

・日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券を主要投資対象とする「CAグローバルREITマザーファンド」の受益証券に主として投資し信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	13.20%	4.73%	9.53%	-15.85%	-3.56%	44.18%

◆ ファンド概況

基準価額	14,418円
純資産総額	41百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

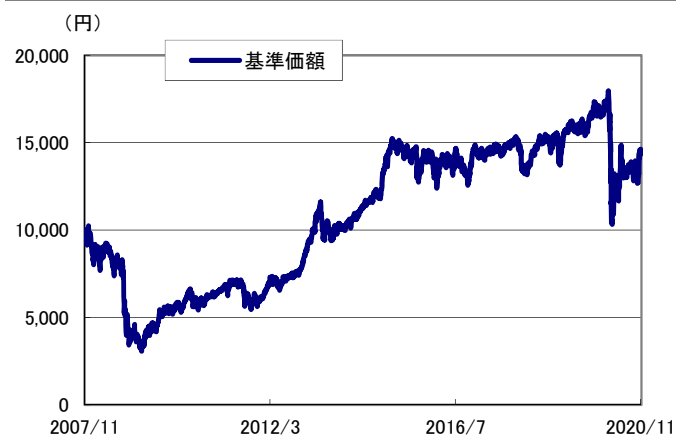
◆ 資産構成比

実質不動産投資信託証券比率	98.62%
現預金等	1.38%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、信用リスク、為替変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。

・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

11月の海外REIT市場は上昇しました。月前半は米大統領選挙と議会選挙の結果を受けてREITは上昇しました。また、新型コロナウイルスのワクチン開発進展の報道も上昇要因となりました。月後半は米経済対策の協議再開の報道や、新型コロナウイルスの感染拡大を懸念した各国の制限措置などを受けて、一進一退の動きとなりました。

日本のREIT市場は、月初は新型コロナウイルスに対するワクチン開発進展の報道を好感し堅調な展開となった後、軟調なオフィス関連指標や新型コロナウイルスの感染者数増加が懸念され上昇幅を縮めました。その後は、相次ぐ公募増資による需給悪化やGoTo事業見直し議論などが重しとなり、おおむね横ばいとなりました。

◆ 組入上位10銘柄※

	銘柄	国	通貨	比率
1	PROLOGIS	アメリカ	米ドル	5.74%
2	EQUINIX	アメリカ	米ドル	3.45%
3	SIMON PROPERTY GROUP	アメリカ	米ドル	3.44%
4	GAMING & LEISURE PROPERTIES	アメリカ	米ドル	3.25%
5	DIGITAL REALTY TRUST	アメリカ	米ドル	3.18%
6	PUBLIC STORAGE	アメリカ	米ドル	3.13%
7	EQUITY RESIDENTIAL	アメリカ	米ドル	2.45%
8	AVALONBAY COMMUNITIES	アメリカ	米ドル	2.37%
9	SEGRO	イギリス	英ポンド	2.17%
10	WELLTOWER	アメリカ	米ドル	1.87%
組入全銘柄数: 145 銘柄		上位10銘柄合計		31.06%

◆ 組入上位5カ国※

国名	比率
アメリカ	60.97%
日本	14.94%
オーストラリア	6.42%
イギリス	4.89%
シンガポール	4.01%

※各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、

内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

マネープール(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2020年11月30日 現在

◆ ファンドの特色

・主として本邦通貨表示の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行うとともにあわせてコール・ローンなどで運用を行うことで流動性の確保を図ります。

◆ 基準価額騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.01%	-0.01%	-0.03%	-0.06%	-0.19%	0.43%

◆ ファンド概況

基準価額	10,043円
純資産総額	755百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

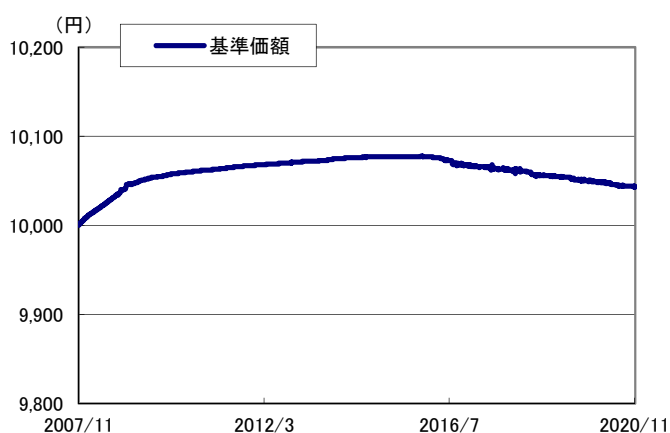
◆ 資産構成比

公社債	66.30%
現預金等	33.70%

◆ 主なリスク

金利変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入銘柄[※]

	銘柄名	償還日	比率
1	第348回大阪府公募公債(10年)	2021/3/30	26.59%
2	平成28年度第2回札幌市公募公債(5年)	2021/6/18	26.47%
3	第946回国庫短期証券	2021/4/26	13.24%
	組入全銘柄数 3 銘柄	合計	66.30%

※ 比率は純資産総額に対する比率です。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

ご注意ください事柄

<投資リスクについて>

- 変額個人年金保険「チョイス&チェンジ」は、一時払保険料から契約初期費用を控除した金額を特別勘定で運用し、その運用実績によって年金原資額、解約払戻金額、死亡保険金額、および積立金額が変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- 特別勘定の運用実績の成果とリスク(価格変動リスク・金利変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・カントリーリスク等)は、保険契約者に帰属しますので、運用実績によっては年金原資額や解約払戻金額等が一時払保険料を下回ることがあり、保険契約者に損失が生じるおそれがあります。

<お客さまにご負担いただく費用について>

- この商品にかかる費用は、「契約初期費用」「保険関係費用」「運用関係費用」「年金管理費用」の合計となります。また、1保険年度あたり16回以上スイッチング(積立金の移転)を行った場合は、16回目から「特別移転費用」がかかります。

* 年金原資を一括で受け取る場合、「年金管理費用」はかかりません。

	項目	内容	費用	ご負担いただく時期等
ご契約時	契約初期費用	保険契約の締結等のために必要な費用です。	一時払保険料に対し、 4.5%	特別勘定への繰入時に一時払保険料より控除します。
積立期間中	保険関係費用※1	死亡保険金の最低保証や、保険契約の維持管理等に必要な費用です。	年率1.01%	特別勘定の積立金額に対して、左記の年率を乗じた金額の1/365を毎日控除します。
	運用関係費用※2	特別勘定の運用に関わる費用で、特別勘定の投資対象とする投資信託の信託報酬等※3です。	信託報酬は 年率1.045%程度(税込) 信託報酬については、「特別勘定のしおり」をご確認ください。	各特別勘定が投資対象とする投資信託の純資産総額に対して、所定の年率を乗じた金額の1/365を毎日控除します。
	特別移転費用	スイッチングを行う場合で、1保険年度につき16回目からかかる費用です。	1回あたり 1,000円	1保険年度につき16回目からのスイッチング時に、積立金より控除します。
年金支払期間中	年金管理費用※4	年金の支払や管理等に必要な費用です。	支払年金額に対し、 1%	年金支払開始日以後、年1回の年金支払日に控除します。

※1 マネープール(RG)を選択した場合、マネープール(RG)の運用収益率が年率1.01%未満のときは、保険関係費用は1保険年度180日までマネープール(RG)の運用収益相当額を上限とします。

※2 運用関係費用は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。各特別勘定の運用関係費用の詳細は、「特別勘定のしおり」をご確認ください。

※3 運用関係費用は、信託報酬に加えて信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等がかかります。これらの費用は、各投資信託の運用状況等によって異なりますので、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。

※4 年金管理費用は、将来変更される可能性があります。

<その他>

- この商品は、クレディ・アグリコル生命保険株式会社を引受保険会社とする変額個人年金保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。
- 解約・一部解約した場合の解約払戻金額に最低保証はありません。
- 引受保険会社の業務または財産の状況の変化により、ご契約時にお約束した保険金額、年金額等が削減されることがあります。

当商品に関する詳細については、「契約締結前交付書面<契約概要/注意喚起情報>」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご確認ください。

【募集代理店】

【引受保険会社】

クレディ・アグリコル生命保険株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号 汐留住友ビル
カスタマーサービスセンター ☎0120-60-1221

Webサイト <https://www.ca-life.jp/>